

# **次期学習指導要領の全面実施に向けた取組み ～学校現場における現状を踏まえて～**

**教育委員会事務局**

# 目 次

- 1 学習指導要領改訂に伴い想定される課題
- 2 課題解決に向けて重点的に取り組む事項（3本の矢）
- 3 第1の矢：教育のICT化への対応・グローバル人材の育成 ～人材力の強化～
- 4 第2の矢：学力向上・教員の指導力の向上 ～基礎学力・応用力の向上～
- 5 第3の矢：教員の多忙化解消 ～教員の働き方改革～
- 6 参考資料 「3本の矢」に対応した本市の現状

# 学習指導要領改訂に伴い想定される課題

- ・ 授業時間数の増加への対応や教員の指導力向上が求められる。（「人」への対応）
- ・ 各教科の指導においてICTの活用が求められる。（「教育環境」への対応）

## 主体的・対話的で深い学び

- 教員から児童生徒への**一方向的な知識や技能の伝達からの転換**
- 知識の理解の質を高め、育成すべき資質・能力を育むための「**学びの量・質・深まり**」の重要性と**授業の工夫・改善**

## ICT教育

- コンピュータを活用した学習活動の充実（**教科指導におけるICTの活用**）
- コンピュータに意図した処理を行うように指示することができるための論理的な考え方である「**プログラミング的思考**」の育成
- プログラミング教育の**必修化**

## 外国語教育

- 小学校3・4年生での「**外国語活動**」の導入（慣れ親しむ）  
→ 外国語学習への動機付け
- 小学校5・6年生で「**外国語**」の**教科化**（できる）  
→ 5領域（聞くこと、読むこと、話すこと、（やり取り）、話すこと（発表）、書くこと）を教科として学習
- 小学校段階で取り扱う単語数：**600～700語程度**

- **授業時数の増加**
- 授業改善のための**研修・研究時間の確保**
- 教員自らのICT活用スキル・指導力の向上、外国語（英語）力・外国語指導力の向上のための**研修時間の確保**

教員の多忙化

# 課題解決に向けて重点的に取り組む事項（3本の矢）

## ～教育委員会として取り組むこと～

- ・ **学習指導要領の改訂、人工知能の進化、社会のグローバル化に対応するための教育環境を整備**し、未来の創り手となる人材を育成すること。
- ・ **民間教育事業者と連携**し、全国レベルの情報収集、本市の立ち位置の比較・分析等を通して教員の指導力向上、確かな学力向上を図る。
- ・ **教員の多忙化を解消**し、子どもと向き合う時間の確保、教育の充実による教育水準の向上を図る。



### 第1の矢

教育のICT化への対応  
グローバル人材の育成

#### 多様で高度な教育環境の整備

- ・ 未来の創り手となる人材を育成



### 第2の矢

学力向上  
教員の指導力向上

#### 教育指導の充実・着実な学力向上

- ・ 全国レベルの情報収集
- ・ 立ち位置の比較・分析



### 第3の矢

教員の多忙化解消

#### 業務の負担感率の逡減

- ・ 子どもと向き合う時間の確保
- ・ 教育の充実による教育水準の向上

# 第1の矢：教育のICT化への対応・グローバル人材の育成～人材力の強化～

## ○人工知能（AI）の進化

- ・ **シンギュラリティ（技術的特異点）** の到来 ～2045年問題（人工知能が、人間の知能を超えると予測される年）～
- ・ **今ある仕事なくなる世界** ～ロボットに「使われる側」か、ロボットを「使う側」か～  
（日本の労働人口の49%が人工知能やロボットで代替可能に！ <2015年12月・野村総研レポート>）

## ○学習指導要領の改訂

- ・ **小学校3・4年生から外国語教育がスタート**
- ・ **平成31年度**の全国学力・学習状況調査において、中学校の調査科目に「英語」が追加
- ・ 高等学校科目で「**情報Ⅰ（Ⅱは選択履修）**」「**理数探究**」が新設 ～プログラミング教育・STEAM教育～  
（小中学校段階での理数教育の強化）

**人材力・イノベーション創出力の強化を図るため、多様で高度な教育環境を整備する必要がある**

### 教育の情報化の推進

（思考力・判断力・表現力等の育成）

- **デジタル教科書（教材）の整備**
- 無線LANの整備とタブレット端末の導入
- 自律的な学習（実感からの理解）の推進

### 理数教育の充実

### 外国語教育の推進

（「慣れ親しむ」から「できる」まで）

- **ALTの拡充**とプログラムコーディネーター配置による外国語教育環境の充実
- 英検等の **民間試験の活用**

【学校現場の状況等】

## 第2の矢：学力向上・教員の指導力の向上 ～基礎学力・応用力の向上～

- 学習指導要領の改訂
  - ・主体的・対話的で深い学びへの対応
  - ・学校図書館の積極的活用

県内だけでなく全国との比較・分析を通して、教育指導の充実・着実な学力向上を図る必要がある

### キャリア教育の推進

- Elem（エリム）等の活用**による将来の生き方等を主体的に考える環境を整備

### 土曜日等の学習支援の推進 教員の指導力向上の推進

- 民間教育事業者との連携**
- 分析（Analysis）の重視

### 学校図書館機能の充実

- 学校図書館への新聞配備**

【学校現場の状況等】

# 第3の矢：教員の多忙化解消 ～教員の働き方改革～

## ○勤務実態調査（速報値）の概要 <H28年度実施（文部科学省）>

- ・教諭の平日1日当たりの平均勤務時間は小学校で11時間15分、中学校で11時間32分
- ・小学校教諭の33.5%、中学校教諭の57.6%が週60時間以上勤務し、20時間以上の残業

## ○教職員の業務実態調査の概要 <H26年度実施（文部科学省）>

（従事率50%以上の業務に対する負担感率が60%以上の業務）

- ・国や教育委員会からの調査やアンケートへの対応
- ・研修会や教育研究の事前レポートや報告書の作成
- ・保護者・地域からの要望・苦情等への対応
- ・児童・生徒、保護者アンケートの実施・集計
- ・成績一覧表・通知表の作成、指導要録の作成

**教員のワーク・ライフ・バランスを確保するとともに、業務の負担感率の逡減を図る必要がある**

### チーム学校の推進

- SC、SSW、SV、学校司書、支援員、医療的ケア支援員等の教員以外の**専門スタッフの充実**
- 中学校における**部活動指導員**の位置づけ・活用

### 校務の情報化の推進

- 校務支援システムの導入**により校務分掌に関する業務やサービス管理上の事務等の管理を標準化し、業務の効率化を図る

**政策パッケージとして一体的に推進**

【学校現場の状況等】

**第1の矢**  
教育のICT化  
グローバル人材

**教育用パソコン**

小学校:1,907台  
中学校:1,149台

1台当たりの児童生徒数

小学校:11.3人  
中学校:12.6人

**電子黒板**

小学校:70台  
中学校:37台

電子黒板等の1学級当たり台数

小学校:0.47台  
中学校:0.60台

**大型ディスプレイ**

小学校:297台  
中学校:181台

**外国語指導助手**

小学校:11人  
中学校:11人

**第2の矢**  
学力向上  
教員の指導力向上

**平成28年度全国学力・学習状況調査平均正答率**

小学校国語A:73.8 (72.9)	国語B:58.2 (57.8)
小学校算数A:78.3 (77.6)	算数B:47.1 (47.2)
中学校国語A:76.5 (75.6)	国語B:66.6 (66.5)
中学校数学A:59.4 (62.2)	数学B:41.7 (44.1)

(単位:%、( )は全国平均)

**学校図書館への新聞配備**

小学校:15校 (22.4%)  
中学校:1校 (2.6%)

(平成27年度末現在)

**第3の矢**  
教員の多忙化解消

**専門スタッフ①**

SC :10人  
SSW : 4人  
SV : 1人

**専門スタッフ②**

支援員 :98人  
医療的ケア支援員: 6人  
学校司書 :42人

**教職員の勤務実態調査**

県の多忙化解消プロジェクトで実施する教職員の勤務実態調査への協力

県が配置している緊急スクールカウンセラー

小学校:18校、中学校:38校に計32人